

研究計画書

ゼミ名	森ゼミ II	チーム名	Moripper
タイトル	ベスト AI、ワースト AI 決めます。～Now in a reformation period～		
テーマ群	a)理論・情報 e)産業・企業		
メンバー			
研究計画内容	<p>[研究の背景]</p> <p>近年、AI（人工知能）という非常に高度な技術を用いた財・サービスが数多く販売されている。現在、この事実に消費者である私たちは何の戸惑いも感じなくなっている。“ルンバ“という自動掃除機、この AI 財を知らないという人はいないであろう。実際、私たちが様々な AI 財・サービスと生活を共にする時代は、目と鼻の先であると考え。そこで、どの AI 財・サービスがより需要があり、あるいは無いのか。また、価格の変化による需要量の変化はどれほどか。いわば変革期の今、この周知ざる事実を考察することで、AI 財・サービスのさらなる普及化と、発展に繋がるのではないかと考えた。</p> <p>[研究内容・方法]</p> <p>AI（Artificial Intelligence）は一般的に人工知能と呼ばれる。AI とは人間の脳が行う知的な作業を行うことができるコンピュータプログラムのことである。AI 財・サービスの高技術化を加速させたのはディープラーニングという機械が自ら行う自動認識技術の登場である。これまで、人が AI に対してモノの一つ一つの知識（形、色、特徴）を教えることで認識していたが、AI の根幹と呼ばれるディープラーニングによって、人が画像やデータをコンピュータに見せるだけで AI 自身がモノを自動的に認識できるようになった。その高度な技術を用いて販売された、あるいは近々販売されるであろう AI 財・サービスをベスト・ワースト法によるアンケートで調査を行う。また調査により選ばれた AI 財・サービスに対し、CVM（仮想評価法）を用いることで、適正価格を導出する。</p> <p>そして、価格の変化が需要量に及ぼす影響はどれほどなのかを考察する。</p> <p>この研究から、迫り来る AI 時代において人々が一体どのような AI 財・サービスを求めているのか、いないのかを明らかにする。</p>		